

[第 175 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2026 年 6 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2026 年 7 月 4 日 (土) 15時～17 時
 - 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
 - テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.267～
 - 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
 - 懇親会 17 時 45 分～ 場所 丸三旅館(高島市安曇川町西万木1045-1)
☎0740-32-1339
- 参加費 6,000 円★参加いただける方は、6/30 迄に田中までご連絡ください。

2026 年 6 月 6 日(土)、安曇川公民館で第 174 回藤樹人間学塾を開きました。今回は京都から 1 名を含め 8 名(うち女性 2 名)の参加でした。

- テキスト
『中江藤樹・熊澤蕃山』(中公バックス日本の名著 11)
- テキストの見出し
「集義和書」巻十一 義論の四 敬の受用、自反慎独、江西学の利害、儒教の道体を輪読し、参考資料も説明。
- 今日のポイント



- ・ 自反慎独…自ら反省して独りを慎むことこそ敬(天・地・人の要道)に到る工夫である。視・聴・言・動・思(五事)すべて天理に従う(正す)ときは、心が広く、体はゆるやかである。人が見ているから善行をするのではなく、人が見ていなくても自分の意思で善行をする。
- ・ 藤樹先生は、10 歳の時「聖人になる」という志を立て、学問を続け思想をどんどん進化させていかれた。大洲で武士として勤務されていた前期は厳格な朱子学を受け入れて現実との摩擦があった。27 歳で小川村に帰られた中期前半には母への孝行という知行合一を果たすと共に、武士という枠組から離れて万人に共通する普遍的な人間学の追及へシフトして行かれた。33 歳以降の中期後半には陽明学と出会い、良知の発見と独自の陽明学を確立された。そして 37 歳以降の後期には、「孝」の宇宙的・宗教的思想へ昇華し、自我を消し去り、宇宙の大きな流れ、明德と自己を一体化させることで、絶対的な安心の境地に到達された。あくなき探究心を見習いたい。
- フリートークキング
 - ・ 「慎独について、心に残る内容でした。孫に話します」
 - ・ 「自反慎独は重要な言葉です。人に見ていないところで一日一善をするようにしている」
 - ・ 「吉田公平『王陽明伝習録を読む』を読んだ。精金のたとえ、私利私欲を捨てることで誰でも精金(純金)に成れるが、重さは能力による。これが陽明学の平等思想だと思った」
 - ・ 「人権、平等の意味を取り違えている例が多いと気付かされた。五事を正す生き方が今だからこそ求められていることを学んだ。AI も寄り添ってくれることが分かったが注意も必要」などの意見をいただきました。皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。参加費無料です！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。